

公表まで対外秘

会議出席者限り

C L Tの新ロードマップの骨子について（たたき台）

ヒアリングに基づき新ロードマップに盛り込むことが想定される事項

●：従来からの施策、○：新規施策

○ロードマップの
一部として公表

【C L Tの認知度が低い】

<C L Tに関する情報の発信・C L Tを用いた建築物の評価の向上>

○大規模イベント等における活用の推進

●消費者・事業者等に向けたC L T関連のP R活動の展開

○S D G s等への寄与の「見える化」

<モデル的なC L T建築物等の整備の促進>

●モデル的・先導的建築物の建設、実証事業等の推進

○C L T建築物を活かしたまちづくりの実証

●先駆性の高い建築物・製品の顕彰制度の推進

●公共建築物等への積極的な活用

【コスト面の優位性が低い】

<効果的な量産体制の整備>

○C L Tパネル等の標準化に向けた連携体制の整備

●製造工場の整備

○低コストの接合金物の開発

<まとまった需要の確保>

●公共建築物での積極的な活用（再掲）

【需要に応じたタイムリーな供給を行えていない】

<安定的供給体制の整備>

○製造工場間の連携による安定供給体制の整備

●製造工場の整備【再掲】

【C L Tの活用範囲をより広くする必要がある】

<建築基準・材料規格の合理化>

○中層C L T建築物の構造計算の合理化・普及

○効率性の高い非等厚C L T等の規格の拡充

●幅広い層構成の基準強度の設定等

<建築以外の分野での活用>

○土木分野で活用可能なC L T製品の開発推進

【C L Tの設計・施工等をしてくれる担い手が見つかりにくい】

<設計者等の設計技術等の向上>

●設計者・施工者等に向けた講習会等の推進

○設計者への一元的サポートの推進

<設計等のプロセスの合理化>

●設計・積算ツールの開発

○CLT 建築物の部材製造、設計、施工プロセスの一体的デジタル化の推進

<担い手情報の提供>

○担い手に関する情報の積極的提供